

## 令和4年度 学校運営連絡協議会実施報告書

### 1 組織

- (1) 都立北園高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 副校長＝事務局長、教務主任、庶務主任、庶務部員2名 計5名
- (3) 内部委員の構成  
校長、副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当)、主幹教諭(生活指導担当)、主幹教諭(進路指導担当)、保健主任、主幹教諭(庶務担当)、国際理解教育主任、信州北園プロジェクト・探究推進主任、1学年主任、2学年主任、3学年主任 計13名
- (4) 協議委員の構成（氏名の掲載も可）  
学識経験者2名、PTA会長、PTA副会長、近隣中学校長、近隣小学校長、近隣自治会長、同窓会長、同窓会副会長、校友会代表理事 計10名

### 2 令和4年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他  
第1回 令和4年6月  
協議委員委嘱、評価委員の選出（報告）  
学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題  
コロナ禍における学校の教育活動について  
第2回 令和4年11月 ※コロナ禍の影響で書面開催とした  
これまでの教育活動に関する報告  
学校評価アンケート（案）についてアンケート実施  
第3回 令和5年3月 ※コロナ禍の影響で書面開催とした  
学校評価、これまでの教育活動に関する報告
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他  
第1回 令和4年11月 内部委員1名、協議委員2名  
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察  
今年度の学校評価の実施に向けた検討  
第2回 令和5年2月 ※コロナ禍の影響で書面開催とした  
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

### 3 学校運営連絡協議会による学校評価(学校評価報告)

- (1) 学校評価の観点
  - ・学校運営、学習指導、特別活動、生活指導、進路指導、健康・安全、ライフワークバランス
  - ・上記の6観点について学校評価を行い、学校経営計画の目標と方策を数値的に評価し、その結果を活用して教育活動の改善につながるよう平成29年度より全面的に改変した。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
  - (1) 全校生徒 12月実施 対象948人 回答393人〈1年105, 2年111, 3年177〉41.5%(-43.7)
  - (2) 全保護者 12月実施 対象948人 回答140人〈1年63, 2年48, 3年29〉14.8%(-16.7)
  - (3) 全教員 12月実施 対象51人 回答43人 84.3%(+21.6)※令和3年度よりアンケート方法を変更したが、生徒・保護者の回答率が著しく低下した。LHRの時間内で一定時間確保する、保護者への周知の方法を改善する等の対策が急務である。
- (3) 主な評価項目
  - ・生徒・保護者・教員の三者に同一内容の質問とし、それぞれの回答を比較できるようにした。
  - ・質問に対して、「そう思う」「だいたいそう思う」「あまり思わない」「全く思わない」（保護者には「わからない」を2年ぶりに追加）から一つを選択する単一回答の18項目と、該当するものの中から複数選択が可能な複数回答の6項目により構成している。
  - ・マイクロソフト Forms を利用し、回答・集計の簡便化を図った。
  - ・学校運営 入学満足度、施設・設備、情報発信、評価できる教育活動（複数回答）

- 学習指導 授業主体性（生徒評価）、授業満足度、評価できる学習指導（複数回答）
- 特別活動 行事積極性（生徒評価）、行事人間性育成、部活動満足度、国際理解教育充実度、評価できる学校行事（複数回答）、評価できる部活動（複数回答）
- 生活指導 規律・マナー（生徒評価）、適切な生活指導、いじめ防止取組、体罰等のない指導、生徒手帳の注意事項に当たる文章について
- 進路指導 第一志望支援、「信プロ」人間力育成、評価できる進路指導（複数回答）
- 健康・安全 防災教育、校内美化（生徒評価）、教育相談機能、清掃できている施設（複数回答）
- ライフ・ワーク・バランス 教員のみ

#### （４）評価結果の概要（校長や学校全般への意見・提言内容）

- ・学校運営では、入学満足度が3者ともに非常に評価が高い。設備については様々な自由意見があり、評価も低い。夏場と冬場にエアコンの故障があったり、秋には煙探知機の誤作動が頻発したりと、施設の老朽化の影響が顕著に表れ、特に教員の評価が低くなっている。
- ・学習指導では、生徒の授業に対する主体性や授業満足度は3者とも比較的評価が高い。評価できる指導として、3者とも第二外国語を挙げている。
- ・特別活動では、学校行事に対する生徒の積極性、部活動の充実、国際理解教育のいずれの項目についても3者の評価が高い。具体的に学校行事では、終祭・体育祭、部活動では種類の数が評価されている。
- ・生活指導では、生徒に向き合った生活指導では、教員とそれ以外との評価の差が改善されつつあるが、規律・マナー順守については差が大きく、具体的には生徒の自己評価は高いが教員の評価は高くはない。いじめ防止の取組、体罰や暴言のない指導の実践がいずれの項目についても生徒と教員の評価が高いが、保護者は「わからない」の回答が最も多い。
- ・進路指導では、生徒の第一志望実現の支援の項目について生徒・教員の評価が高い。保護者は1、2年生では「わからない」とする回答がそれぞれ約15%あったためやや数値を下げたがおおむね好評化であった。具体的には、進路講演会、各種ガイダンスを挙げている。「信州北園プロジェクト」については、今年度は森林探究実習・新入生セミナーが再開し、実施できなかった3年生を除くと高い評価を得ている。
- ・健康・安全では、防災教育において、宿泊防災訓練の不実施や三密を避けた避難訓練実施等の影響があり、3者とも一昨年から大きく下げた評価が戻ってこない。生徒の校内美化の取組については、生徒の自己評価は高いが、教員の評価とは乖離がみられる、教育相談機能については、生徒・教員とも少し評価が下がっている。今回保護者の回答に「わからない」を再設定したため、保護者は「わからない」とした回答がそれぞれ30%を超えている。清掃が行き届いていない施設は、廊下階段や更衣室、普通教室が指摘されているほか、自由意見ではトイレが挙げられている。

#### （５）評価結果の分析・考察

##### 学校運営

- 問1〔生徒は、北園高校に入学して満足している〕（入学満足度）  
生徒 94.1%(-0.2)、保護者 93.2%(+0.2)、教員 93.0%(+9.2)
- 問15〔生徒にとって、学校の施設・設備は整っている〕  
生徒 56.1% (-3.4)、保護者 62.1%(-5.8)、教員 18.70%(-6.3)
- 問16〔学校の情報は、ホームページなどにより適切に発信されている〕  
生徒 68.4% (+8.9)、保護者 74.8% (+6.9)、教員 81.4%(-12.3)
- 問19〔本校の教育活動の中から評価できるもの（複数回答）〕

生徒 ①学校行事 78.7%(-4.9)、②校風・伝統 57.7%(-2.3)、③部活動 44.7%(-13.5)  
保護者①学校行事 67.3% (+3.4)、②校風・伝統 62.9%(+2.0)、③国際理解プロジェクト48.2%(+12.4⑤)  
教員 ①国際理解教育 69.8%(+26.2)、②授業 67.4%(-7.6①)、③国際理解プロジェクト60.6%(+7.4)

- ・入学満足度は、生徒・保護者とも9割を超え、3者ともに非常に高い。
- ・学校の施設・設備について、3者とも低く、特に教員の評価が低い。また、自由意見では例年のようにトイレの改修・改善の要望、冷暖房について意見が出ている。
- ・学校の情報発信について、教員の評価は高いものの、生徒・保護者の評価とは依然差がある。自由意見では、学校の情報発信の学年による差異が大きいという意見が寄せられ、学年別の数値に表れている。年度途中で導入した「39メール」の周知・活用が来年度に向けて課題となる。
- ・評価できる教育活動について、終祭・体育祭の実施により学校行事が評価を戻している。例年評価の高い国際理解教育は、海外語学研修や姉妹校との相互交流中止の影響からか、今回は生徒・保護者ではそれぞれ評価を落としているが、リセとの交流の再開や3月にTGGの生徒が来校したり、オーストラリア語学研修が再開したり等、交流が活発化することで満足度の向上が期待できる。

## 学習指導

問2〔生徒は、主体的に授業に参加している〕

生徒 88.4%(+1.0)、保護者 80.7%(-3.6)、教員 86.0%(-7.8)

問3〔生徒にとって、満足できる授業が多い〕(授業満足度)

生徒 74.6%(-2.3)、保護者 70.8%(-6.8)、教員 83.7%(-10.0)

問20〔本校の学習指導の中から評価できるもの(複数回答)〕

生徒 ①第二外国語 54.3%(-1.6)、②習熟度別授業37.5%(+7.0③)、③3年文理分 33.2%(-2.2②)

保護者①第二外国語 63.0%(+4.5)、②3年文理分 46.9%(+6.2③)、③習熟度別授業44.9%(+3.8②)

教員 ①第二外国語 69.8%(+13.5②)、②習熟度別授業44.2%(-21.4①)、③3年文理分・講習補習・3年の選択科目 32.6%

- ・生徒の授業に対する主体性に関する評価は、3者とも比較的高い。
- ・授業満足度は、3者とも評価が下がっている。
- ・評価できる学習指導について、3者とも評価が高いのは第二外国語である。
- ・問20では、「3年での文理分け」に対する評価が教員・保護者と比較して、特に3年生徒が21.5%(昨年3年24.8%)と低かった。また、自由意見でも様々な意見が出ている。

## 特別活動

問11〔生徒は、学校行事に積極的に参加している〕

生徒 94.3%(-0.1)、保護者 91.9%(+2.2)、教員 95.4%(-1.5)

問12〔生徒は、学校行事によって個性豊かな人間性が育まれている〕

生徒 91.8%(+1.4)、保護者 77.2%(-2.4)、教員 83.7%(-6.9)

問13〔生徒は、本校の部活動に満足している〕

生徒 86.4(-2.3)、保護者 76.3%(-16.0)、教員 81.4% (-12.4)

問17〔本校の国際理解教育は、充実している〕

生徒 80.3%(-3.4)、保護者 60.9%(-16.0「わからない」23.0)、教員 95.4%(+7.9)

問23〔本校の学校行事の中から評価できるもの(複数回答)〕※令和元年度結果との比較

生徒 ①終祭 90.1%(+0.7)、②体育祭 81.1%(+2.5)、③クラスマッチ 69.6%(-5.6)

保護者①終祭 85.5%(+5.9)、②体育祭 69.0(+1.8)、③クラスマッチ 59.2%(+7.4)

教員 ①森林探究実習 67.4%、②体育祭 51.2%(-11.3①)、③クラスマッチ 51.2%(-0.9)

問 24 [本校の部活動の中から評価できるもの (複数回答)]

生徒 ①種類の数 76.0%(+4.2)、②活動日数 26.9%(-1.5)、③活動時間 24.1%(-2.2)

保護者①種類の数 70.4%(+10.2)、②活動日数 42.7%(+3.9)、③活動時間 30.8%(-2.6)

教員 ①種類の数 58.1%(+8.1)、②活動時間 27.9%(-9.6)、③顧問の指導・コーチの指導 27.9%

- ・学校行事に対する生徒の積極性は、3者ともに非常に評価が高い。なお、生徒・保護者の終祭・体育祭への評価が高かった一方で、教員は今年再開の森林探究実習への評価が高かった。
- ・部活動満足度は、3者ともに評価が高く、評価できる部活動の内容は、種類の数も3者ともに高い。
- ・国際理解教育充実度は3者ともに高いが、一昨年に下がった評価が上らず、コロナ禍により3年連続で海外語学研修や姉妹校との相互交流が実施できなかった影響が考えられる。

## 生活指導

問 5 [生徒は、規律を大切にし、マナーを守っている]

生徒 96.9%(+3.4)、保護者 93.3%(+0.8)、教員 68.8%(-3.5)

問 6 [学校は、生徒と向き合い、適切な生活指導を行っている]

生徒 77.5%(+2.4)、保護者 75.9%(-3.9)、教員 68.8%(+9.3)

問 7 [学校は、いじめ防止に組織的に取り組んでいる]

生徒 85.0%(+2.8)、保護者 80.3%(+26.4) (昨年わからない 41.7%)、教員 96.9%(+5.4%)

問 14 [学校は、体罰や暴言のない指導を実践している]

生徒 96.6%(+4.7)、保護者 95.7%(+13.8) (昨年わからない 14.1%)、教員 100%(+4.3)

- ・規律・マナー順守についての評価は、生徒・保護者の非常に高い評価と比べると教員の評価はかなり低いものの、一昨年と比較すると+22.8ポイントである。
- ・生徒に向き合った生活指導については、教員の評価は上がったものの、生徒・保護者の評価とは、やや開きが見られる。
- ・いじめ防止の取組は、生徒・教員の評価は比較的高いが、保護者のわからない 41.7%であった。
- ・体罰や暴言のない指導の実践は、3者とも評価が高い。

## 進路指導

問 4 [学校は、生徒の第一志望実現の支援をしている]

生徒 85.7%(-9.1)、保護者 71.5%(-0.7)、教員 80.4%(-10.2)

問 18 [「信州北園プロジェクト」での経験は、人間力の育成につながっている]

生徒 62.8%(-5.9)、保護者 58.2%(-11.0 「わからない」 34.8%)、教員 83.7%(+10.6)

問 21 [本校の進路指導の中から評価できるもの (複数回答)]

生徒 ①進路講演会 44.8%(+6.1②)、②各種ガイダンス38.4%(-1.6①)③模擬試験等 32.5%(-3.2)

保護者①進路講演会 57.5%(+17.0②)、②各種ガイダンス51.2%(+7.1②)、③進路ニュース 37.1%(+9.5)

教員 ①各種ガイダンス58.1%(-1.3)、①進路講演会 58.3%(+1.2②)、③面談指導 44.2%(+9.9④)

- ・生徒の第一志望実現の支援は、3者とも比較的高いが保護者が若干低い (1, 2年生保護者の「わからない」 15.5%)。
- ・「信州北園プロジェクト」は、3年前まで高い評価であったが、今年度森林探究実習と新入生セミナーが実施できたが、昨年度まで2年連続で中止の影響で、生徒・保護者ともに評価を下げている。
- ・評価できる進路指導について、3者とも進路講演会とともに各種ガイダンスの評価が高い。

## 健康・安全

問 8 [学校は、防災教育を通して、自助・共助の意識を育成している]

生徒 67.8%(-3.4)、保護者 41.2%(-39.1 「わからない」 45.5%)、教員 65.1%(-3.7)

問9〔生徒は、校内美化に積極的に取り組んでいる〕〔校内の清掃は行き届いている〕

生徒 80.2%(+1.7)、保護者 52.3%(-21.3「わからない」27.4%)、教員 62.8%(-15.3)

問10〔学校は、カウンセリングなどの教育相談機能が整っている〕

生徒 71.2%(-10.4)、保護者 48.0%(-16.8「わからない」38.9%)、教員 74.4%(-3.7)

問22〔本校の施設の中から清掃が行き届いていない場所（複数回答）〕

生徒 ①更衣室 39.6%(-19.6)、②どこも清掃が行き届いている 33.4%(+9.5③)、③普通教室 23.0%(+14.2④)

保護者①どこも清掃が行き届いている 59.5%(+5.3)、②廊下階段 21.2%(-1.5)、③普通教室 3.6%(-25.2⑤)

教員 ①特別教室 30.2%(+4.7②)、②更衣室 27.9%(-15.9①)、③職員準備室・生徒昇降口 23.6%

・防災教育は、昨年に続き評価が低い。三密を避けた避難訓練（講話中心）等により、防災教育の実施が例年と比べて内容が薄かったためと考えられる。

・生徒の校内美化の取組は、生徒からは比較的評価されている。教員からの評価はやや低くなった。また、清掃が行き届いていない施設は、例年更衣室が指摘されているが、生徒・教員ともポイントは下がっている。生徒からは自由意見でも複数意見が出ている。保護者からは、どこも清掃が行き届いている 59.5%と評価されたが、実際には学校に来られる機会がほとんどないのが実情である。

・教育相談機能は、生徒・教員からは比較的高評価だが、生徒からの評価が 10.4 ポイント下がった。

### ライフワークバランス

問25〔ライフ・ワーク・バランスについて、国や都が働き方改革に取り組んでいることに一定の成果がある〕

教員 37.2%

問26〔教職員の在校時間の縮減を図り、教職員の健康管理や職場環境の整備等を推進している。〕

教員 34.9%

・コロナ禍があり、自宅勤務や時差勤務の制度が導入されたが、活用している教員は半数に満たない現状であり、「実施したくてもできない」、あるいは「業務縮減にはつながっていない」、「要求される仕事量に対して、職員の数が足りていない。」という意見があるように、現在の業務量に負担を感じている教員の方が多い。

## 4 学校運営連絡協議会の成果と課題(学校の自己評価へ反映)

### ※第1回協議会と、第2回第3回の協議委員からのアンケート回答内容より記載する。

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・「1年間、都立北園高校の伝統を維持された努力に敬意。昨年よりは今年と、校長先生を柱に教職員の一本化が伺える。」
- ・「北園共生会議を開催し、北園高校をどういう方向にしていこうかということを経験者と生徒との間で自由に意見交換が行われ、継続されていることは大変評価できます。」
- ・「コロナ禍における先生方の細やかな御対応に感謝します。体育祭・文化祭のYouTube配信、ありがとうございました。」

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・「コロナによってももの考え方が変わってきている。18歳成人で、一人一人の生徒の責任性が問われる。働き方改革や部活動の在り方等、日本固有の教育の方法ではなく、グローバルな視点を持つことが大事。」
- ・「不易と流行」、何が不易なのか、生徒が思う自由はどういうことなのか、ダメなものには明確に理由を説明していく毅然とした姿勢も必要だと思います。もちろん社会通念上おかしなものは改める勇氣も必要だと思います。」
- ・「毎朝の登校時、隣接する小学校前で、自転車・歩行者の通行の仕方が危ないことが多い。いつ事故が起きてもおかしくない。」
- ・「保護者への情報公開が少ない。探究活動の発表の場を外部・保護者に公開してほしい。」
- ・「出欠席は生徒の意識はもとよりであるが、保護者の姿勢も大きく影響する。」

## 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項(学校経営計画へ反映)

### (1) 学校運営

施設・設備については、夏場と冬場にエアコンの故障があったり、秋には煙探知機の誤作動が頻発したりと、施設の老朽化の影響が顕著に表れ、特に教員の評価が低くなっている。冷暖房設備については、最優先課題として、令和5年度以降に設備更新について教育委員会と折衝済みであるが、更新の実現は令和6年度以降の見込みである。

広報活動について、引き続き組織的に取り組むとともに、通学圏内で認知度が低い地域の中学校や学習塾に向けて積極的に広報活動を展開する。

### (2) 学習指導

令和4年度から年度進行の新学習指導要領による新教育課程実施について、年間を通じて準備・実施・見直しを進める。令和4年度は、1年生の観点別評価やC4thの導入、定期考査採点システムの導入等があり、試行錯誤しながら進め、令和5年度は月1回の定例教科会を年間行事計画に組み入れ、授業改善への取組を継続させていく。

### (3) 特別活動

コロナ禍で実施した体育祭や終祭等の学校行事における課題を整理し、改善に向けた検討を組織的に図り、時代に即した質の高い行事を構築する。3年ぶりに実施した宿泊行事を振り返り、今後の継続発展のためにも感染防止対策に留意しながら実施する。また、地域との連携による防災訓練を実施する。

### (4) 生活指導

保護者と連携して、欠席・遅刻数を増やさない方策を継続して検討・実践する。スクールカウンセラーやアンケート調査を活用し専門医による教育相談の充実を図り、組織的生徒指導に取り組む。また、生徒と教員が話し合う場(北園共生会議)を継続して設定し、よりよい学校生活に結び付ける。

### (5) 進路指導

1・2年生の自主学習時間を増やすとともに、受験準備を早期に開始させることにより、第一志望実現を支援する。都教委による自主学習支援事業を継続する。大学入学共通テストの結果を踏まえ、キャリアガイダンスや進路講演会、キャンパス訪問等、進路指導の改善及び一層の充実を図る。夏季特別講習について、今年度実施した成果を踏まえて計画・実施する。

### (6) 健康・安全

コロナ禍で十分に実施できなかった防災活動について、地域との連携を深めて計画・実施する。スクールカウンセラーの活用について、生徒保護者の実情は困難さが増している状況で相談件数が減少している現状を踏まえ、周知方法や相談体制の整備を急ぐ。

### (7) ライフワークバランス

コロナ禍で、時差勤務や自宅勤務の制度が採り入れられ、一部の教員は活用していたものの、現在の業務量に負担感を感じている教員が多いことを踏まえ、業務の効率化と負担感の軽減に取り組む。

## 6 「学校が良くなった」と考える協議委員の割合

### (1) 協議委員人数 10人

### (2) 学校が良くなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そう思わない	分からない	無回答
5	1	1				3

## 7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果 実績なし

## 8 その他

今回、新型コロナウイルス感染症対策で第2回及び第3回が書面開催となった。次年度も継続される協議委員には第1回の協議会で第3回の内容にも触れる場面を設定する。